

07 拉致被害者に希望の光を届けるために

(北朝鮮による拉致問題)

5 (ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、徳永玲子がお届けします。今日のタイトルは「拉致被害者に希望の光を届けるために」です。

10 2002年、北朝鮮が日本人の拉致を認め、5人の被害者が帰国しました。他にも拉致の疑いがある人が多くいたことから、救出を目指す民間団体として、翌年に設立されたのが特定失踪者問題調査会です。調査会によると、拉致の可能性がある失踪者は、およそ900人とされています。

15 調査会では、北朝鮮の拉致被害者に向けて、2005年にラジオ番組「しおかぜ」を立ち上げました。日本語、朝鮮語、英語、中国語の4カ国語で、毎日、北朝鮮や日本のニュース、救出活動の状況、家族のメッセージなどを放送しています。番組を運営している村尾建児さんにお話を伺いました。

20 【村尾さん役】北朝鮮ではラジオが重要な情報源になっていくことを知り、この番組を始めました。拉致された方々は、日本の状況を知らずとも、家族と連絡を取ることができませ

ん。絶望ぜつぼうしているであろう方かたたちに声こえを届け、生きる希望きぼうを持ちもつづけてほしいと思おもいました。

25 これまで延のべ100人にんを超える家族かぞくが、「しおかぜ」を通とおして呼びかけをしてきました。拉致らちされた子どもや親おやの健康けんこうを気きづかいながら、自分じぶんたちの近況きんきょうを伝つたえたり、励はげましの言葉ことばを送おくったりしています。マイクを向むけると思おもいが込み上げ、涙なみだで話はなせなくなる方かたもたくさんいました。

30 (ナレーター) 帰国きこくした拉致被害者らちひがいしやの一人ひとり、曾我そがひとみさんは、お母かあさんの曾我そがミヨシさんも1978年ねんに拉致らちされています。ひとみさんがラジオで呼よびかけたメッセージの一部いちぶをご紹介します。

35 「かあちゃん、今いまどうしていますか。元氣げんきでいますか。いつも優やさしかったかあちゃん。時々ときどき、一緒いっしょに撮とった小学校しょうがっこうの卒業そつぎょう写真しやしんを見みています。かあちゃんに孫まごの顔かおを見みてもらいたいと思います。とても大きくなり、会あったらびっくりすると思おもいます。一日いちにちも早く帰かえってきてください。私わたしたちはいつまでも、いつまでも待まっています。」

40 【村尾むらおさん役やく】拉致被害問題らちひがいもんだいは、いまだに解決かいけつされていない人権侵害じんけんしんがいです。北朝鮮きたちょうせんには、助けを待まちつづける日本人にほんじんが今いまもいます。家族かぞくとの再会さいかいを決けつして諦あきらめず、これからも放送ほうそうを続つづけていきます。

(本文911字)